

平成 30 年度 (2018 年度)

公益財団法人蘭島文化振興財団

事業計画

1 事業運営の基本方針

地域文化の振興を目指した諸事業を行うとともに、地域文化に関する教育普及活動の推進を図り、もって呉市民の文化振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

2 定款に定める事業

- (1) 蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業
- (2) 昆虫の家における自然環境保全啓発事業
- (3) 松濤園における芸術文化振興事業
- (4) 白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 事業の詳細

公益目的事業 1 「蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業」

(1) 展覧会事業

【特別展】

蘭島閣美術館	特別展 「小磯良平」 没後 30 年を迎える洋画家小磯良平の画業を辿る展覧会を開催する。 1903 年神戸に生まれた小磯良平は、東京美術学校で学んだ後、パリに留学し各地の美術館をめぐる西洋の古典的な名作に触れている。帰国後は、西洋の古典的な技法を日本の洋画界に根付かせることを目標に、優れたデッサン力を活かしながら清楚で気品あふれる画風を確立した。本展では昭和の洋画壇を代表する小磯良平の軌跡を、油彩画や素描、版画を通して紹介するとともに、広島で交流をもった作家たちの作品もあわせて展示し小磯と広島とのつながりを紹介する。
--------	--

〃	<p>秋季特別展</p> <p>「戦後の美術—広島を中心に—」</p> <p>戦後広島美術をけん引した画家たちに焦点をあて、昭和20年代から現在活躍している画家までを紹介し広島の日本画のあゆみを辿る。</p> <p>戦況悪化に伴い郷里に疎開しその後8年間郷里にとどまり制作を続けた奥田元宋をはじめ、その他にも多くの画家たちが広島で作品制作を行いながら、美術の発展を促してきた。本展では、戦後の復興とともに花開いた広島の芸術を作品とともに振り返り、改めて広島の美術の流れを俯瞰する。</p>
---	--

【所蔵品展】

蘭島閣美術館	「蘭島閣美術館コレクション名品展」、「平和への祈り」、「蘭島閣美術館コレクションより 白日会の作家たち」、「新春を寿ぐ」、「黒による表現」
蘭島閣美術館 別館	「寺内萬治郎と同時代の作家たち」、「寺内萬治郎の油彩画を中心に」、「寺内萬治郎の歩み（1）」、「寺内萬治郎の歩み（2）」
三之瀬御本陣 芸術文化館	「マチュールの魅力—須田国太郎と近代日本の巨匠たち—」、「洋画家が描いた水墨画—須田国太郎・岸田劉生・鬯光—/日本画にみる技と表現」、「須田国太郎名品コレクション/薔薇*バラ*ばらのマンダラ—須田国太郎から野田弘志まで—」、「海を渡った画家たち—スペイン・フランス・イギリス—」、「いきもの集まれ！須田国太郎 VS 日本画・洋画・焼き物に描かれた生き物たち」、「躍動するかたち—人・もの・風景—」

(2) 教育普及事業

【講演会・教室等】

海や山などに囲まれ、恵まれた自然環境を生かし、市民が気軽に学習、制作活動に参加できるワークショップ・講座等を開催する。

【地域連携プログラム】

市内教育・文化 施設等	<p>「芸術文化普及事業」【自主事業】</p> <p>絵画作品の無償提供を受け、教育・文化施設又は福祉施設などの公共施設を中心に絵画の貸し出しを行い、市民や児童・生徒が芸術作品に触れる機会を提供することで、芸術文化の普及を図る。</p>
----------------	--

【ギャラリーコンサート】

<p>蘭島閣美術館</p>	<p>美術館という特別な環境の中でクラシックコンサートを開催し、美術と音楽という異なる種類の芸術を同時に楽しんでもらうことにより、芸術に対する一層の意識の向上を図って行く。</p> <p>4月21日 仲道郁代（ピアノ）</p> <p>5月19日 店村眞積（ヴィオラ） 小山京子（ピアノ）</p> <p>6月16日 大谷康子（ヴァイオリン） 小山さゆり（ピアノ）</p> <p>7月21日 上野耕平（サクソフォン） 山中惇史（ピアノ）</p> <p>8月18日 菊池洋子（ピアノ）</p> <p>9月15日 小林美恵（ヴァイオリン） 調整中（ピアノ）</p> <p>10月20日 吉野直子（ハープ）</p> <p>11月17日 渡辺玲子（ヴァイオリン） 調整中（ピアノ）</p> <p>12月15日 小山実稚恵（ピアノ）</p> <p>1月19日 宮田まゆみ（笙） 鈴木俊哉（リコーダー）</p> <p>2月16日 北田千尋（ヴァイオリン） 調整中（ピアノ）</p> <p>3月16日 竹山愛（フルート） 調整中（ピアノ）</p>
<p>〃</p>	<p>ギャラリーコンサートに関連し、次の事業を開催する。</p> <p>「コンサート講演会」【自主事業】</p> <p>コンサートに関する講演会を開催し、クラシックコンサートに対する理解を深めてもらう。</p>
<p>市内小学校等</p>	<p>ギャラリーコンサートに関連し、次の事業を開催する。</p> <p>「ミニコンサート」【自主事業】</p> <p>ギャラリーコンサート出演者等の協力を得て、学校等においてクラシックコンサートを行い、子どもたちの豊かな感性を育てていく。</p>

（3）収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立てて行く。

公益目的事業2「昆虫の家における自然環境保全啓発事業」

(1) 展覧会事業：

地域の自然環境保全や生物保護への意識向上に資するため、昆虫標本や、生き物をモチーフとした美術品等の鑑賞機会を提供する。

(2) 教育普及事業

【講演会・教室等】

「ふれあい海岸教室」【自主事業】及び「ふれあい昆虫教室」【自主事業】
市民が気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。特に、下蒲刈島の豊かな自然に触れ、身近な生物である昆虫あるいは貝や海藻の観察や採集を通して、生命の尊さや自然環境保護の重要性について学び、豊かな感性を養って行く。

【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、環境教育の普及に努めると共に、児童・生徒の環境保全活動に対する支援を行って行く。

公益目的事業3「松濤園における芸術文化振興事業」

(1) 展覧会事業

【所蔵品展】

松濤園	朝鮮通信使資料館：「異文化交流と朝鮮通信使」、「朝鮮通信使の道」、「朝鮮通信使と船の旅」、「描かれた通信使と来日の影響」、「朝鮮通信使と江戸時代の心」 陶磁器館：「柿右衛門ーヨーロッパに咲いた伊万里ー」、「動物文様と古伊万里」、「古伊万里色絵の世界ー所蔵名品展ー」、「古伊万里の装飾と文様」、「やきものと茶の湯」
-----	---

(2) 教育普及事業

【講演会・教室等】

市民や子供たちが気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。

【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、児童や生徒に対する文化の向上に努めると共に、地域が培ってきた伝統文化の継承を進めて行く。

【地域に息づく歴史と文化を普及啓発する事業】

「朝鮮通信使再現行列」(平成30年10月21日)

地域の歴史の掘りおこしと日韓友好への一助を目的に、江戸時代の善隣友好使節団「朝鮮通信使」行列の再現を行う。行列の参加者は広く地域住民に求め、地域振興の一環として実施する。

「秋のお茶会」(11月上旬)と「春の梅見茶会」(2月中旬)

松濤園の日本建築と瀬戸内の自然を借景に取り込んだ日本庭園を活用した茶会を催し、茶道という日本の伝統文化の継承に努め、併せて地域文化の向上に努めて行く。

(3) 収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、地域の歴史と美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立てて行く。

公益目的事業4 「白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業」

(1) 展覧会事業

広く芸術文化(主に体験型の日本文化)の振興に資するため、美術品や建築等の展示を行うと共に、地域に根付く日本文化の体験機会を提供して行く。

(2) 教育普及事業

【講演会・教室等】

松籟亭	「茶道教室」(毎月2回) 【自主事業】 武家茶である上田宗箇流による茶道教室を開催し、広島県の伝統文化の継承を図る。
-----	--

【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、体験学習の普及に努める共に、児童・生徒の日本の伝統文化に対する理解を深めて行く。